

幸運なんです。
雲南です。

だんだん雲南

雲南市東京ふるさと会会報

■発行日：2016年(平成28年)9月1日
■発行者：雲南市東京ふるさと会
会長 難波 明
■編集者：内田 正明
■印刷：株式会社 東京デザインセンター



盛大に開催第5回交流会

雲南市東京ふるさと会

開催日時：2016年(平成28年)6月25日(土曜日)12時～15時

開催場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館 東京都千代田区九段北4-2-25)

峠を越えたとは言え、まだまだ暑い日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。本紙「だんだん雲南」も第10号を刊行する節目の第10号を刊行する

動状況等を報告します。

今回の交流会は昨年の「総会」とは異なり「決算報告と事業計画・予算案等の審議は行わず、第1部「講演会」と第2部「懇親会」で構成、限られた時間の中でみなさんが親睦を深め合うとともにシンブルを楽しんでもらえる内容にしました。参加人数も昨年総会に約4割増しの総勢114名(会員と会員同伴者の合計91名、その内初参加は17名)となり、たいへん盛況で楽しい催しとなりました。

講演会は、宮内庁で式部官長を務められた菊田吉夫さんに、昭和・平成両天皇と皇居・宮中などに関する思い出をお話いただきました。特に平成天皇の御人柄に深い印象がありました。くしくも7月に入ると突然天皇の生前退位が話題に上りましたが、これも「相手を思いやる」「何事も一生懸命やる」という天皇の人柄ゆえの発案なのだと、納得できるものがありました。

懇親会は当会会長の難波明の挨拶に始まり、来賓のご三方から祝辞を、その後雲南市の近況報告を頂き、そして雲南市市議会副議長の周藤さんの発声で待ちに待った乾杯へ。



主催者挨拶

雲南市東京ふるさと会
会長 難波 明



ふるさと会は10年目

6カ町村が合併し雲南市ができてから昨年で10周年を迎え、当会も発足して本年が10年目の年に当たります。

今回の交流会は、硬い話は抜きにし親睦を図ることを主眼にしています。ですので、本日は是非ともおいに楽しんでいただきますようお願いいたします。

また本日は来賓として雲南市長をはじめ、東京島根県人会副会長の三東さん、島根県東京事務所所長の今岡さん、東京仁多会会長の杉(ゆずり)さん、福島県石川町町長の加納さん(大東町出身、そのほか多くの方に貴重な時間を割いてご出席いただき、まことにありがとうございます。)

動状況を少し紹介させていただきます。

東日本大震災から5年が経ちましたが、この間5回にわたり、震災復興を少しでも応援しようと「石川町応援ツアー」と銘打ったバスツアーを開催し福島県石川町を訪問しています。実際に復興のお役に立っているかは判りませんが、その気持だけは現地の方々に感じ取っていただいているものと考えます。

来賓祝辞①



雲南市 速水 雄一さん

雲南市は誕生からこの11月で満12年を迎えます。この間基礎固めを行ってきましたが、これから先の10年を飛躍の10年にすべく市民みなさんと議会、執行部とともに努力をしております。

※事務局からのお知らせ

1、次回・来年の催し(名称は第6回総会)は平成29年(2017年)7月8日(土曜日)開催予定。

2、来年の催しでは、みなさんから「お楽しみ抽選会」の賞品の積極的な提供を歓迎致します。

来賓祝辞②



東京島根県人会副会長 三東 高秀さん

先々週でしたか、NHKで「鶴瓶の家族に乾杯」を観ました。大東の棚田、三刀屋の旧家並みなどが出ていたが、田舎の原風景を見るようで非常に楽しく見させていただきました。また雲南市が全国放送で紹介されること自体、非常にうれしいことであると考へます。



島根県東京事務所所長 今岡 良さん

私は飯南町の出身でよく出雲空港からレンタカーで帰りをしますが、どうしても雲南市を通らなければならないことと考へます。

出雲大社の大遷宮、松江城の国宝化決定、本年4月のたたら製鉄の日本遺産への登録と、明るい話題が続いています。

私は旧大原郡幡屋村の出身で、幡屋小・中学校、大東高校までを郷里で過ごし、その後幸運にも東京大学に合格し東京へ出るようになりました。大学卒業に当たり外務省の採用試験にチャレンジしたら合格。それ以来東京を本拠地として過ごし、年に1回帰省していましたが、最近雲南市との縁が深まり、市内の中学校を訪問し講演をしています。

私は外交官として約30年過ごした後、2度わたる宮中でお仕えしました。決して易しい任務ではありませんでしたが、得がたい経験であったと考へています。

昭和天皇は独特の雰囲気とユーモアのセンスを持っておられ会話はいつも和やかでした。外務省時代に昭和天皇の通訳を務めたことがありますが、陛下の有名な口癖である「あ、そうや。Ah so!」を何度も訳したものです。

私がフランスへ赴任する際、「重責」を苦勞であったという言葉を頂きました。それが昭和天皇の元氣な姿に接する最後の機会となりました。

宮中の雰囲気も時代とともに変わってきています。昭和天皇は人を呼ぶのに敬称を付けられませんが、平成の天皇は宮内庁勤務で最も印象深いこととす。わずかな数日の滞在で陛下に対する感情・印象がずいぶん改善されることを実感したものです。

天皇の外国訪問が宮内庁勤務で最も印象深いこととす。わずかな数日の滞在で陛下に対する感情・印象がずいぶん改善されることを実感したものです。

講演会



御傍そばで拝見した 天皇家ご一家 河田 吉夫さん

私は旧大原郡幡屋村の出身で、幡屋小・中学校、大東高校までを郷里で過ごし、その後幸運にも東京大学に合格し東京へ出るようになりました。大学卒業に当たり外務省の採用試験にチャレンジしたら合格。それ以来東京を本拠地として過ごし、年に1回帰省していましたが、最近雲南市との縁が深まり、市内の中学校を訪問し講演をしています。

私は旧大原郡幡屋村の出身で、幡屋小・中学校、大東高校までを郷里で過ごし、その後幸運にも東京大学に合格し東京へ出るようになりました。大学卒業に当たり外務省の採用試験にチャレンジしたら合格。それ以来東京を本拠地として過ごし、年に1回帰省していましたが、最近雲南市との縁が深まり、市内の中学校を訪問し講演をしています。

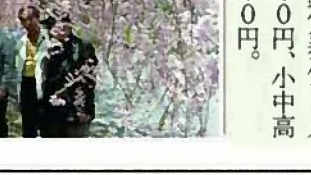
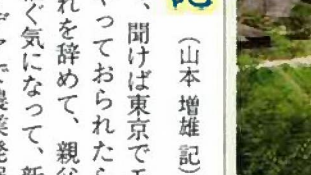
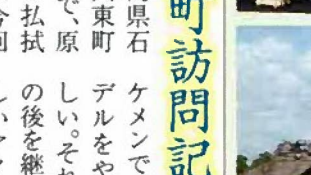
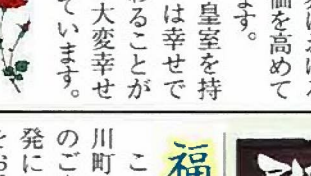
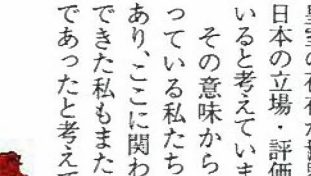
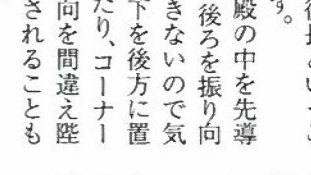
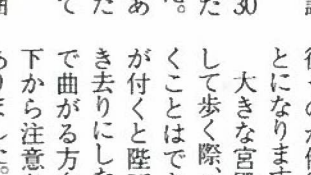
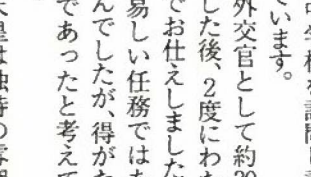
私は旧大原郡幡屋村の出身で、幡屋小・中学校、大東高校までを郷里で過ごし、その後幸運にも東京大学に合格し東京へ出るようになりました。大学卒業に当たり外務省の採用試験にチャレンジしたら合格。それ以来東京を本拠地として過ごし、年に1回帰省していましたが、最近雲南市との縁が深まり、市内の中学校を訪問し講演をしています。

私は旧大原郡幡屋村の出身で、幡屋小・中学校、大東高校までを郷里で過ごし、その後幸運にも東京大学に合格し東京へ出るようになりました。大学卒業に当たり外務省の採用試験にチャレンジしたら合格。それ以来東京を本拠地として過ごし、年に1回帰省していましたが、最近雲南市との縁が深まり、市内の中学校を訪問し講演をしています。

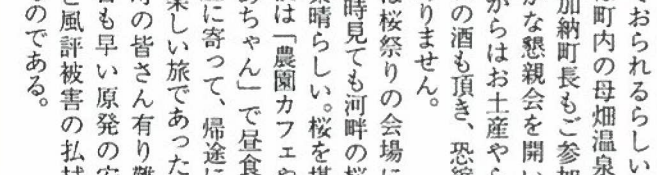
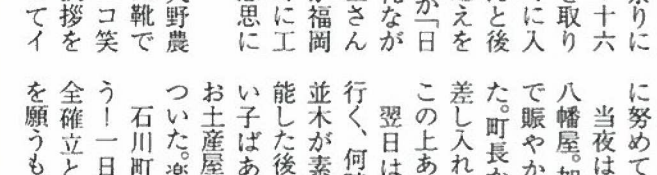
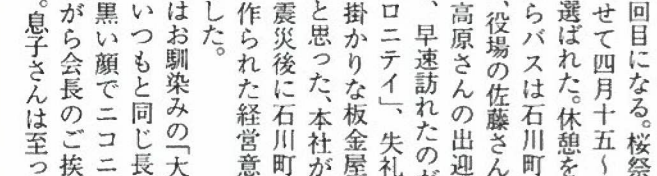
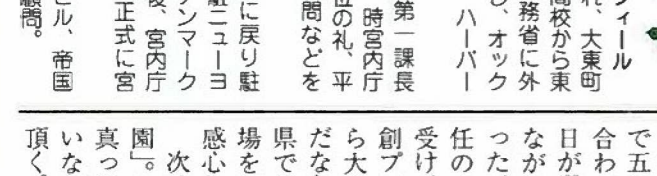
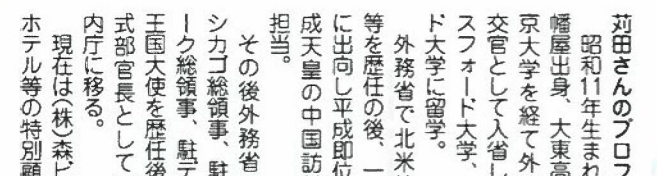
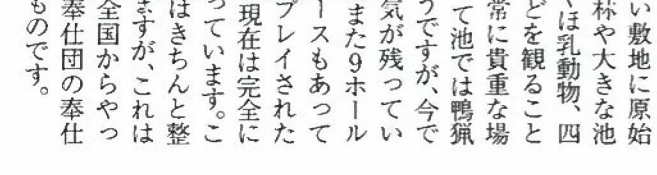
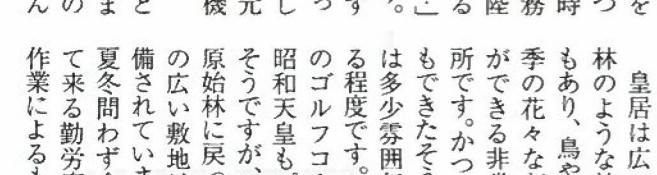
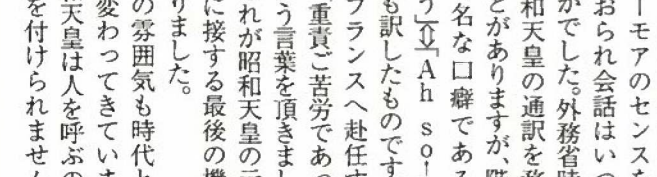
私は旧大原郡幡屋村の出身で、幡屋小・中学校、大東高校までを郷里で過ごし、その後幸運にも東京大学に合格し東京へ出るようになりました。大学卒業に当たり外務省の採用試験にチャレンジしたら合格。それ以来東京を本拠地として過ごし、年に1回帰省していましたが、最近雲南市との縁が深まり、市内の中学校を訪問し講演をしています。

私は旧大原郡幡屋村の出身で、幡屋小・中学校、大東高校までを郷里で過ごし、その後幸運にも東京大学に合格し東京へ出るようになりました。大学卒業に当たり外務省の採用試験にチャレンジしたら合格。それ以来東京を本拠地として過ごし、年に1回帰省していましたが、最近雲南市との縁が深まり、市内の中学校を訪問し講演をしています。

おたのしみ抽選会 第五回 交流会 雲南市東京ふるさ



特別賞品
河田賞：森美術館入場券（ペア券）×1名（河田吉夫様提供）
松田賞：女性用ニット洋服×4名（オアシス松田・松下陽子様提供）
島根賞：雲南市物産セット×1名（にほんばし島根館様提供）
NDR賞：ギフト券×1名（NDRトラベル様提供）
おくに賞：食事券×1名（出雲神楽料理おくに様提供）
雲南賞：ゴールドスターメロン×1名（大東町産・宅配）
市長賞：ワインセット×1名（奥出雲葡萄園様）
副市長賞：乳製品セット（奥出雲葡萄園様）
通常賞品
1等賞：牛肉×1名（奥出雲牛・宅配）
2等賞：プレミアムアイスクリム×2名（木次乳業・宅配）
3等賞：H28産新米（5kg）×3名（吉田・宇山米・10月宅配）
4等賞：ちよんばし産米セット×4名（ふるさと村・宅配）
参加賞：玄米糠（2食用）×100名（宮内舎）



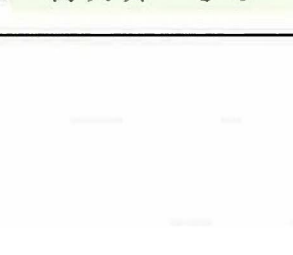
うんなん便り

政策企画部 うんなん暮らし推進課

めざせ、世界遺産「たたら文化遺産」が今年4月、日本遺産に認定されました

坂「の3つのテーマパークを集結させた複合観光施設です。『たたら映画村』は、1万平方メートルを超える広大な敷地に戦国時代の原風景が再現されており、映画のセットのみならず、限定映像の上映や、主要キャストの劇中衣装展示を行う『たたら侍エンタランスシアター』も併設しています。さらに、今作のアクション監督がプロデュースした侍アクションショーも行われます。日本全国から八百万の神々が集まる神聖な地で、さまざまな出会いを結びつける、緑の地「出雲」で皆様のお越しをお待ちしています。

▼たたら村午前10時から午後6時（居酒屋えぐざいる午後7時開店）
▼映画「たたら侍」全国共通前売り鑑賞券付き入場料3500円、小中高生2500円。



福島石川町訪問記

このツアーは福島県石川町の加納町長が大東町のご出身という縁で、原稿による風評被害の払拭をお手伝いしようという、今回で五回目になる。桜祭りに合わせて四月十五日、十六日が選ばれた。休憩を取りながらバスは石川町に入った。役場の佐藤さんと後任の高原さんの出迎えを受け、早速訪れたのが「日創プロニティ」。失礼ながら大掛かりな板金屋さんだと思った。本社が福岡県で震災後に石川町に工場を作られた経営意思に感心した。

次はお馴染みの「大野農園」。いつもと同じ長靴で真っ黒い顔でニコニコ笑っているが会長のご挨拶を頂く。息子さんは至ってイケメンで、聞けば東京でモデルをやっておられたらしい。それを辞めて、親父の後を継ぎ気になって、新しいアイデアで農業発展に努めておられるらしい。当夜は町内の母湯温泉、八幡屋。加納町長もご参加で賑やかな懇親会を開いた。町長からはお土産や差し入れの酒も頂き、恐縮の上あります。

翌日は桜祭りの会場に行く。何時見ても河畔の桜並木が素晴らしい。桜を堪能した後は「農園カフェ」で昼食。お土産に寄って、帰途についた。楽しい旅であった。石川町の皆さん有り難う！一日も早い原発の安全確立と風評被害の払拭を願うものである。

